

国試直前補講
臨床医学各論

第2章 消化器 解説

音声はありません。

5秒で画面が切り替わります。

解説を見たいところは停止機能で画面を止めて
解説を読んでもください。

講補前直試國
論各學医床臨

第2章 消化器 口腔疾患

1. う歯について誤っているのはどれか。
(1-70-P23)

- ①微生物によって産出される酸が歯を脱灰する。
- ②食事中的糖の量に関係する。
- ③唾液の流出が少ないと、う歯になりやすい。
- ④CI(1度)で痛みを生じる。

齲齒

- ・微生物によって産出される酸が歯を脱灰する。
- ・食事中的糖の量に関係する。
- ・唾液の流出が少ないと齲齒になりやすい。
- ・C1は齲齒がエナメル質に局限したもの。
痛みが生じるのはC3以上からである。

むし歯になる一歩手前の状態

セルフケアで改善できます。



むし歯未満
(C0 シー・オー)

歯に穴はあいていないが、表面が溶かされてつやがなくなり、白く濁って見えたり薄い茶色になります。

むし歯の症状と進行の様子

治療が必要となります。



軽度のむし歯
(C1)

痛みはないが、歯に穴や茶・黒ずみができている状態です。歯の表面にあるエナメル質がむし歯に侵されています。



中度のむし歯
(C2)

冷たい物がしみるようになります。エナメル質の下にある象牙質までむし歯が進んでいます。



重度のむし歯
(C3)

歯がズキズキと痛むようになってきます。歯の神経近くまでむし歯が進行している状態です。



最重度のむし歯
(C4)

歯がほとんどなくなり、根だけが残っている状態です。この状態をさらに放置すると根に膿を持ち強烈な痛みを感じるようになります。

2. う歯の要因でないのはどれか。
(9-78-P23)

- ①口腔内細菌
- ②食物
- ③歯の質
- ④年齢

齲齒の発生原因

- ・歯の質→エナメル質がもろければ齲齒の原因になる
- ・食物→糖の多い食べ物は齲齒の原因
- ・口腔内細菌→ミュータンス連鎖球菌などが作り出す酸によって歯牙組織が溶ける。
6歳までにうつらなければ齲齒になりにくい。
幼少期の親からの口移しはNG

3. 口腔内所見と疾患の組合せで正しいのはどれか。(23-57-P23)

- ①う 歯—悪性貧血
- ②アフタ性口内炎—潰瘍性大腸炎
- ③舌 炎—くる病
- ④口角炎—ビタミンA欠乏症

口腔所見

- ・ハンター舌炎…悪性貧血
 - ・アフタ性口内炎…潰瘍性大腸炎
 - ・口角炎…ビタミンB2欠乏
-
- ・くる病（ビタミンD欠乏による代謝性骨疾患）
 - ・ビタミンA欠乏症（夜盲症）

4. 歯周病の増悪因子でないのはどれか。
(25-62-P21)

- ①喫煙
- ②舌炎
- ③妊娠
- ④糖尿病

歯周病の増悪因子

- ・喫煙
- ・妊娠（ホルモンバランスの変化、悪阻による嘔吐）、閉経
- ・糖尿病
- ・免疫異常
- ・ストレス
- ・加齢

講補前直試國
論各學医床臨

第2章 消化器 食道疾患

1. 食道癌でみられないのはどれか。
(16-63-P24)

- ① 嗝声
- ② 嚥下性肺炎
- ③ 脾腫
- ④ 吐血

食道癌の症状

- ・嗔声（反回神経の圧迫）
- ・嚥下性肺炎（食道がんが進行すると食道・気管支瘻を形成し、嚥下性肺炎を併発することがある）
- ・吐血（食道粘膜からの出血）

脾腫

脾腫自体は病気ではないが、その原因になっている病気がある。造血系の悪性腫瘍（白血病やリンパ腫）などでみられる。

臨各【消化器】

2. 「70歳の男性。嚥下障害と体重減少で来院し、食道癌と診断された。さらに右眼瞼下垂と縮瞳が認められた。」
本疾患について適切なのはどれか。(23-79-P24)

- ①腺癌が多い。
- ②中部食道に多い。
- ③化学療法は用いられない。
- ④予後は良い。

5. 食道癌について正しいのはどれか。(28-69-P24)

- ①腺癌に多い。
- ②若年者に多い。
- ③女性に多い。
- ④アルコールは危険因子である。

食道癌

- ・90%以上が**扁平上皮癌**
- ・**中部**、下部の順で多い
- ・早期がんでは内視鏡下粘膜切除術
進行したものでは外科的手術
手術が難しい場合、**放射線治療**や**化学療法**が行われる
- ・5年生存率は20%で**予後不良**

食道癌

- ・扁平上皮癌が90%、腺癌は5%以下
- ・50歳代～増加傾向で、男性に多い
- ・発生要因：喫煙、飲酒（特に扁平上皮癌との関連高い）

3. 「70歳の男性。嚥下障害と体重減少で来院し、食道癌と診断された。さらに右眼瞼下垂と縮瞳が認められた。」本症例にみられる合併症はどれか。(23-80-P24)

- ①上大静脈症候群
- ②反回神経麻痺
- ③顔面神経麻痺
- ④ホルネル症候群

食道癌の合併症

- ・食道・気管支瘻形成→誤嚥性肺炎
- ・大動脈に浸潤→大出血
- ・上大動脈を圧迫→顔面の浮腫（上大動脈症候群）
- ・反回枝系の巻き込み→声帯が動かなくなる（嗄声）
- ・交感神経の巻き込み→同側の眼瞼下垂（ホルネル症候群）
- ・迷走神経の圧迫→徐脈

4. ホルネル症候群がみられやすいのはどれか。
(26-69-P24)

- ①食道癌
- ②胃癌
- ③大腸癌
- ④肝臓癌

ホルネル症候群

交感神経遠心路の障害によって生じる
縮瞳、眼瞼下垂、眼球陷凹を三大徴候とする症候群。

脳腫瘍や脊髄空洞症、食道癌やパンコースト腫瘍などで
頸部交感神経が圧迫されることにより起こる。



国試直前補講
臨床医学各論

第2章 消化器

胃・十二指腸疾患

臨各【消化器】

1. ダンピング症候群を起こす原因はどれか。
(4-76-P29、30)

- ①胃切除
- ②過敏性腸症候群
- ③食道炎
- ④虫垂炎

2. 胃切除後症候群の症状でないのはどれか。
(7-74-P30)

- ①冷や汗
- ②腹痛
- ③下痢
- ④嚥下障害

4. 胃切除術後のダンピング症候群の所見で誤っているのはどれか。(21-74-P30)

- ①冷 汗
- ②腹 痛
- ③高血糖
- ④下 痢

臨各【消化器 胃・十二指腸疾患1】(4-76-P29) 解答①

ダンピング症候群

胃切除術や胃吻合術後にみられるもので、摂取した食べ物が直接腸内に入るため起こる症候群をいう。

急激な高血糖状態を示す早期ダンピング症候群(食後20～30分後)と、

続いて低血糖症状を示す晚期ダンピング症候群(食後1～3時間後)とに分けられる。

臨各【消化器 胃・十二指腸疾患2】(7-74-P30) 解答④

臨各【消化器 胃・十二指腸疾患4】(21-74-P30) 解答③

胃切除後症候群(ダンピング症候群)の症状

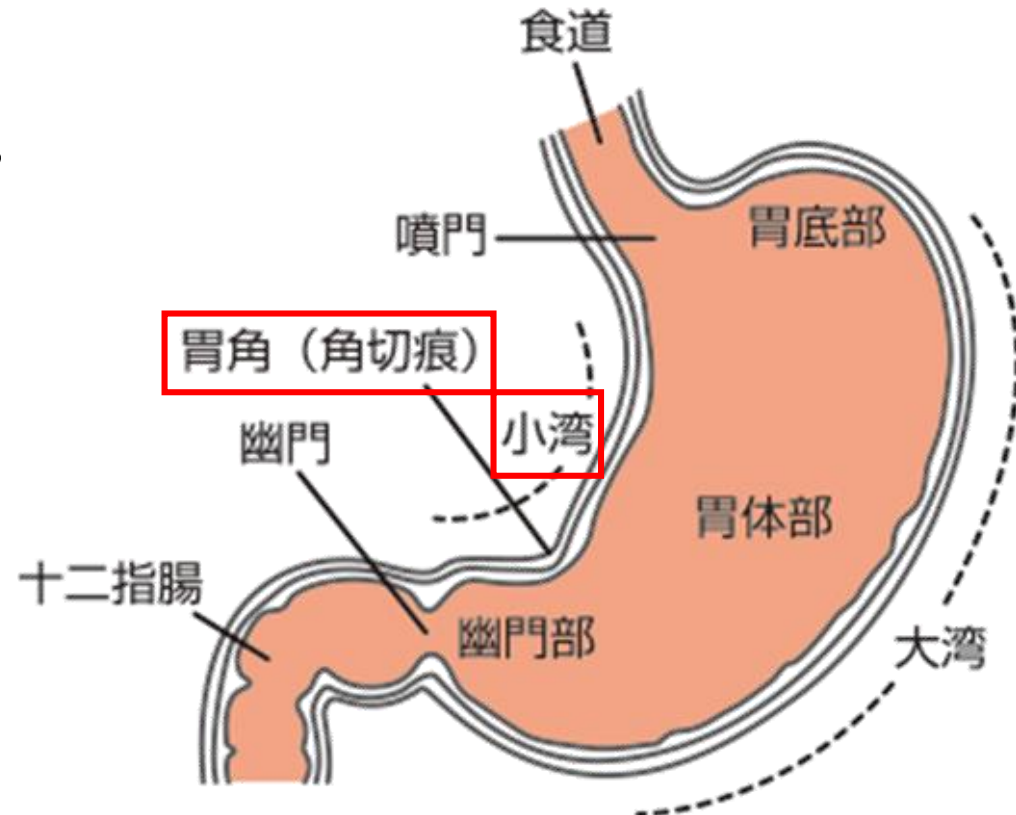
腹部膨満感、悪心、嘔吐、下痢、冷や汗、動悸、頻脈
ふるえ、腹痛など

3. 胃潰瘍について誤っている記述はどれか。
(17-69-P27)

- ①女性より男性に多い。
- ②好発部位は胃の大弯である。
- ③エックス線像でニツシエがみられる。
- ④ヘリコバクター・ピロリの感染と関係がある。

胃潰瘍

- ・胃潰瘍の好発部位は胃角部・小弯部である。
- ・主因は胃液による自己消化であるが、
誘因としてストレス、ヘリコバクターピロリ、外傷などがある。
- ・若年者から高齢者まで各年齢層にみられる。
- ・男性に多い。
- ・X線でニツシェ像を認める。



5. 「45 歳の男性。最近、心高部から背中中の皮膚にかけて痛みが起きる。胸やけ、食欲不振もある。上部消化管内視鏡検査では、胃角部に潰瘍を認め、ヘリコバクター・ピロリの感染を疑った。」本症例の背中中の皮膚の痛みで最も適切なのはどれか。(25-79-P27)

- ①空腹時に起こる。
- ②関連痛である。
- ③体性痛である。
- ④内臓痛である。

関連痛：激しい内臓痛が脊髄内で隣接する神経線維に波及し、その神経支配の皮膚分節に疼痛を感じるもの。
このうち、腹部以外の皮膚に感じられる関連痛を放散痛という。
(例) 胆嚢炎→右肩

空腹時痛：十二指腸潰瘍で空腹時に激しい痛み

体性痛：皮膚や骨、筋などの体性組織への機械的刺激によるもの

内臓痛：胸腹部内臓器への圧迫や伸展などが原因で発生するもの

6. 「45 歳の男性。最近、心高部から背中中の皮膚にかけて痛みが起きる。胸やけ、食欲不振もある。上部消化管内視鏡検査では、胃角部に潰瘍を認め、ヘリコバクター・ピロリの感染を疑った。」ヘリコバクター・ピロリの検査はどれか。
(25-80-P27)

- ①尿素呼気検査
- ②胃液測定
- ③尿沈渣検査
- ④血清ペプシノーゲン測定

尿素呼気検査

非侵襲的にヘリコバクター・ピロリ菌感染の有無を確認

胃液測定

胃疾患（潰瘍、癌）の診断

尿沈渣検査

腎、尿路疾患の診断

血清ペプシノーゲン測定

胃疾患のスクリーニングとして有用

ヘリコバクター・ピロリ菌感染時には高値を示す

国試直前補講
臨床医学各論

第2章 消化器 腸疾患

臨各【消化器】

1. 腸閉塞症について誤っている組合せはどれか。
(2-82-P37)

- ①閉塞性腸閉塞———糞塊
- ②絞扼性腸閉塞———腸捻転
- ③麻痺性腸閉塞———下痢
- ④腸重積———血便

7. 麻痺性イレウスの症状で誤っているのはどれか。
(19-66-P37)

- ①嘔 吐
- ②腹 痛
- ③下 痢
- ④膨満感

11. 脱水を起こしやすいのはどれか。
(24-71-P37)

- ①腸閉塞
- ②大腸ポリープ
- ③胃下垂
- ④食道憩室

臨各【消化器 腸疾患Ⅰ】(2-82-P37) 解答③

臨各【消化器 腸疾患Ⅶ】(19-66-P37) 解答③

臨各【消化器 腸疾患Ⅱ】(24-71-P37) 解答①

腸閉塞(イレウス)の症状

どの腸閉塞でも排便停止(便秘)・排ガス停止を示す。
腸閉塞の種類によっては頻脈、発熱、脱水、尿量減少なども。

イレウスの原因

- ・閉塞性腸閉塞: 大腸癌、腸癒着、糞塊
- ・絞扼性腸閉塞: 腸捻転、腸重積
- ・麻痺性腸閉塞: 重症感染症、薬剤

機械的イレウス

機能的イレウス

腸重積

腸管の一部が腸の中に嵌入(穴などに長い物がはまりこむこと)した状態で、腸管のうっ血、浮腫、出血を引き起こす。

2. 過敏性腸症候群について正しい記述はどれか。
(3-78-P34)

- ①下血をみることが多い。
- ②便秘と下痢とを繰り返すタイプがある。
- ③発熱を繰り返す。
- ④ストレスとは無関係である。

10. 過敏性腸症候群でよくみられるのはどれか。
(24-70-P34)

- ①発熱
- ②嘔吐
- ③下痢
- ④血便

過敏性腸症候群とは

- ・腸の機能異常によって引き起こされる。
- ・主症状は腹痛に伴う便通異常
- ・便通異常は便秘または下痢、便秘と下痢が交代する
交代性便通異常である
- ・原因はストレスなどの心因性による
- ・青年期に好発する

3. 下痢の原因疾患でないのはどれか。
(7-75-P35)

- ①過敏性腸症候群
- ②大腸炎
- ③虫垂炎
- ④クローン病

過敏性腸症候群の症状
慢性下痢(交代性便秘異常)

大腸炎の症状
軽い腹痛、下痢を呈するものから、発熱、粘血便・膿性便をきたすものである

クローン病の症状
主徴候は下痢、腹痛、発熱

虫垂炎の症状
主症状は初期では心窩部痛、
次いで右下腹部痛、圧痛やブルンベルグ徴候など
下痢はみられない

4. 疾患と原因との組合せで正しいのはどれか。
(14-67-P38)

- ①マロリーワイス症候群---喫 煙
- ②潰瘍性大腸炎---ヘリコバクターピロリ菌
- ③過敏性腸症候群---免疫異常
- ④ポイツ・イエガース症候群---遺 伝

マロリーワイス症候群とは

嘔吐により噴門近傍部の粘膜に裂創が生じ、大量の吐血をきたす。飲酒、尿毒症などによる嘔吐に伴うことが多い。

潰瘍性大腸炎とは

大腸とくに直腸粘膜及び粘膜下組織に潰瘍を形成する疾患。

原因は不明（自己免疫が指摘されている）

ヘリコバクターピロリと関係があるのは消化性潰瘍

過敏性腸症候群とは

原因は心因性（情動・ストレス）である

5. クローン病の合併症はどれか。(15-72-P33)

- ①巨大舌
- ②唾液減少
- ③手掌紅斑
- ④痔瘻

12. 痔瘻を合併しやすいのはどれか。
(25-69-P33)

- ①過敏性腸症候群
- ②急性細菌性腸炎
- ③潰瘍性大腸炎
- ④クローン病

臨各【消化器 腸疾患5】(15-72-P33) 解答④

巨大舌が現れる疾患

先端巨大症、甲状腺機能低下症、アミロイドーシス

唾液減少が現れる疾患

糖尿病、甲状腺機能障害、尿崩症、シェーグレン症候群

手掌紅斑が現れる疾患

血中エストロゲン上昇(とくに妊娠や 肝機能障害)

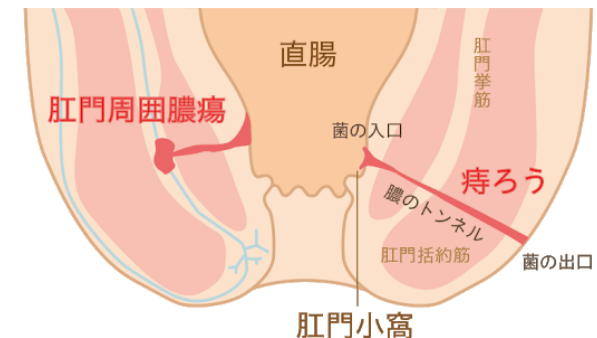
膠原病(SLE、皮膚筋炎、関節リウマチなど)、慢性肺疾患

臨各【消化器 腸疾患12】(25-69-P33) 解答④

痔瘻

直腸と肛門周囲の皮膚をつなぐ
トンネルができる痔のこと。

クローン病では肛門部の病変が生じる



6. 潰瘍性大腸炎の特徴でないのはどれか。
(18-75-P32)

- ①粘血便
- ②敷石状病変
- ③全周性潰瘍
- ④中毒性巨大結腸

9. 潰瘍性大腸炎の合併症でないのはどれか。
(20-66-P32)

- ①口腔内アフタ
- ②ブドウ膜炎
- ③結節性紅斑
- ④痔瘻

13. 潰瘍性大腸炎の特徴で正しいのはどれか。
(28-70-P32)

- ①大腸壁の全層に炎症を起こす。
- ②痔瘻合併の頻度が高い。
- ③直腸から口側へと病変が連続する。
- ④回盲部に好発する。

臨各【消化器 腸疾患6】(18-75-P32) 解答②

臨各【消化器 腸疾患9】(20-66-P32) 解答④

臨各【消化器 腸疾患13】(28-70-P32) 解答③

潰瘍性大腸炎

症状:粘血便(粘液と血液が混入しているもの)

診断:全周性潰瘍

合併症:中毒性巨大結腸、大腸癌、口腔内アフタ、ブドウ膜炎、虹彩炎、結節性紅斑、壊死性膿皮症、強直性脊椎炎、原発性硬化性胆管炎

敷石状病変

縦走潰瘍とその周辺の小潰瘍間の大小不動の粘膜隆起。
クローン病や虚血性大腸炎で見られる。

8. 癌と腫瘍マーカーとの組合せで正しいのはどれか。(20-65-P333)

- ①大腸癌 ——— CEA
- ②子宮体癌 ——— SCC
- ③胃 癌 ——— CYFRA
- ④乳 癌 ——— AFP

臨各【消化器 腸疾患8】(20-65-P333) 解答①

CEA (胎児の消化器細胞にある蛋白の一種)

大腸・直腸癌、胃癌の一部、膵臓・胆道・肺・子宮・卵巣の癌

SCC

肺扁平上皮癌、子宮頸癌、食道癌、皮膚がん

CYFRA

肺癌 (扁平上皮癌、腺癌、大細胞癌)

AFP (胎児の血清中にある蛋白)

肝臓がん

子宮体癌: CA19-9、CA50、CA125

胃癌: CEA、SLH、STN、NCC-ST-439

乳癌: CA15-3、CA125、CEA、NCC-ST-439